

有志演習会—共学の風景—

日本キネシオン協会 関東地区 賛助会員
(株)アーネストDKSリージョナル 河本 悦子

【はじめに】

2017年4月29日「どきどきフリーマーケット」出展のデモの為に、関東会員有志（坪井・前田・森・溝口・吉井）が集まり、お互いを当日のデモ希望者と想定したデモポイント3点を決断する為のシミュレーション演習会を行った。上記メンバーに限らず昨年11月入会の新会員や月例会常勤会員は、月例会以外にJKA関東事務所の演習会に月1～2回程度は参加しており、近畿支部の運営指導で多忙を極めている坪井副理事長にも月1回程度は応援して戴いている。

この稿では、先ずDKSを体験して貰えるまでの対話と重要3ポイントの選び方についての考え方を紹介する。

【広報催事での接客とDKSデモへの導入】

先に最後迄DKSを体験して戴くための導入の大切さを演習した。

1. 笑顔で挨拶:アイコンタクトで説明

- ・エネルギーボールを使った生体電流の実験や電極テスト迄はインストラクターでなくても全員ができるようにする。
- ・「凝っている筋肉が触れずして緩む、生体電流を整える“ホンモノ”の半導体ゲルマ3点貼付で筋力バランスが変わる無料デモンストラクション」というトーク。
- ・3点迄は無料体験できることとアンケート用紙に住所名前を書いて貰うこと。
- ・人相や顔色の悪い人、とても簡単には3点体験だけではDKSを理解できないと思われるような方、明らかに否定的マイナスな態度を示す人は無理に引き込まない。
- ・会員自身の波動を最高状態に持って行き接客対応し、月例会無料見学を強く勧める。
- ・3点で良さが分からない相手にはワンコイン（500円）5点の有料体験は勧めない。
- ・良い感触の無料体験後、主訴の解決を求められたらベテラン会員に引き継ぐ。

2. 電極について:代理筋テストの意味

電極の確認：何故指の腹でOFFとなり、爪側でONになるかの説明…生体電流を示すエネルギーボールを利用する。健常者は電極から常に余分なプラス電位を放電しており、体表にプラス電位を帯びている部位は掌（ての

ひら）を当てると代理筋の力が抜けることを説明しながら、初見の体験希望者の筋力を把握すること、仮に電極が異常であった場合のクォン水の補給やエネルギーゲイト（手首足首）の緩め方などを実施し、必ず電極を正常化してから取り掛かることと、弱い側の三角筋を使わないことを徹底演習した。

3. DKSについて

キネシオロジー（K）に基づくMRや東洋医学の経穴に適切に半導体ゲルマを貼り、日常生活でダイナミック（D）な動きを維持したまま筋力バランスを調整（S）する。内臓も血管も筋肉である。近づく高齢社会に健康自立を目指す「大人」の為の健康術。

“2”の電極テストを実施しながら、キネシオロジーに基づく三角筋を代理筋とするテストや、代理筋テストで重要なポイントをインストラクターが3点選び、半導体仕様のゲルマニウムを貼るとどのように凝り痛みが変わるか？という3点無料体験の主旨を説明する。重要なポイントに指の腹で触れて筋力OFFの場合に半導体ゲルマを貼ると生体電流を瞬時に整え、代理筋に力が入る、というDKSの説明演習をした。

ミニゲルマにはヘルステープを補強し、永久に半導体としては有効だが、小さいので管理できにくい、ピンポイントを探すことはできないので、月例会に来て必要な家庭用のゲルマニウムを求めてほしい、という説明も付け加えて、月例会動員を徹底する。

実際に3点デモをどこにするかは、蒙食望診で決定できるが、自信のない会員は必ず5つのアームズテストを行い、貼付図にアンケートの主訴と関連付けてアームズテストOFFと追跡検査の反応を必ず記載することを盟約した。（相手の状態を記録することで3点を想定できる。アームズテストにより、DKSへの関心を高められる。5点追加になった場合は改善を示せる。記録があって後から電話をすると、共感を再現できる。）

4. 大腰筋は最重要ポイント

相手の主訴に拘らずに、大腰筋に問題があれば必ず大腰筋に関するデモを丁寧にする、という企図を説明し、大腰筋を徹底演習した。（仲間内の演習では徹底できなかった。）

- ・大腰筋と法令線並びに同側の腰部がアームテストでOFFの関係を示す。
- ・同側のふくらはぎの緊張と対角の小胸筋 触察で確認。
- ・小胸筋の緊張が見られたら、横隔膜呼吸テストを行い、吸気・呼気のポイントをアームテストでダブルチェックする。
- ・大腰筋のポイントを正確に見出し（ミニゲルマの為）、貼付後法令線並びに同側の腰部にタッチしてアームテストが強くなる、ことを示す。
- ・脚上げ運動を座位のまま無理なく10回上げて戴くデモ演習。同側の脛脛の過緊張がとれることを先ず共感する。（上部の緊張がとれても下部に緊張が残っている場合には対側の腸骨筋＝腓腹筋・ヒラメ筋が弱いことを頭に入れて2点目の候補に考える。
- ・次に対側の小胸筋の過緊張の緩和を確認後横隔膜のポイントテスト、改善したのを確認後、今度は呼吸テストをする。
（稀に同側の小胸筋が緊張していたり、運動後も小胸筋が緩まない場合の対処も演習した。）

5. 2点目・3点目の選び方

2点目3点目は、大腰筋の演出に集中していると、自ずと浮かび上がってくる。大腰筋に関わる実技に集中していながら、次の2点をどう見せるかを考える。

- ・大腰筋貼付運動後、脛脛の下部の緊張がはっきり残っている場合（唇の端がずれている方も）**腸骨筋**は必須。
- ・腰が重い、怠い、という訴えがあれば副腎の検査をしてOFFなら3点目も腸骨筋。
中注（ツボ）としての腸骨筋左右貼付が必要な方は食後良く居眠りをしている。
- ・動きで腰痛がある方は2点目腸骨筋と3点目は**大腿四頭筋**。
- ・ぎっくり腰を訴えている方は天枢・関元、双方ある方は梅エキスで筋力ONを示す。
- ・ひざ痛を訴える方は痛む膝をきき、2点目大腿四頭筋・3点目日月。シールオイルをつぶして膝裏に塗らせてもらう。
- ・腰背部痛や肩こりで左肩が上がっている方は、**腸骨筋**又は**大腿四頭筋**の内より有効な方を2点目に選び、左肩凝りを摘んで共感してもらい、3点目**広背筋左MR**に貼り広背筋の腕を締める運動を行い、左肩凝りの改善迄を確認する。
 - ・O脚には大腰筋の後**両内転筋**に貼り運動。

- ・5つのアームズテストでホルモンOFFの方は頭部がある場合には頭部に貼り、残り1点は関元・天枢・期門・日月・中脘・華蓋・棘上筋など広背筋左を検査して主訴に関係あるところを考える。
- ・**三陰交**がある時は期門・章門左又は広背筋MR左・神闕を検査してOFFを示し三陰交で解決し、アームズテストのホルモンバランスの改善を示す。
- ・アームテストの三角筋がどちらか弱く、脾経の反応の強い人は**肺一脾**を2点目3点目にする。
- ・大腰筋貼付後、座位で大腿四頭筋の検査をし左右力が入らない方、あまり動かないで膝も腰も背中も痛むという猫背気味の方には**小腸一膀胱**を2点目・3点目にする。

6. 特別な3点

- ・両ひざ痛で朝起抜けや、長く座っていた後腰痛がある。動き出してしばらくすると膝だけ痛む、という場合には、**小腸一膀胱+日月**で3点とする。
- ・腰痛が全くなく首だけの問題（脊椎変異でも腰椎・仙椎には問題がないという場合には、頸椎屈曲筋に貼付し、対側の胸鎖乳突筋あたりの過緊張がほぐれることを示し、頸椎屈曲筋・肩甲挙筋で3点とし、頸部OFFの改善を示す。
- ・胸椎のみの場合は、期門・心包一肝・小円筋・大円筋を使うが、大腰筋OFFと小胸筋の緊張を改善してから取り掛かる。

【まとめ】

出展の結果、エネルギーボールで生体電流の確認をしていたが、手をつないで行った時、首から上に触れてエネルギーボールが鳴らなくなる方がいた。水を飲んだり、迷走神経にミニゲルマを貼っても首から上に水分が行かないらしく、ボールに電気が付かない。やや肥満しており、顔色が青黒く、腕の水分代謝もOFF、本人は全く痛みや不調の自覚症状がない。無理に呼び込まない対象の実例とスタッフ一同実感。

3日間フル出席の森会員は、ついに大腰筋を解決すると、首肩回りの反射がことごとく消えるという事例を実感でつかんだ。

まだ貼付図を整理できていないが、大腰筋を軸に筋連結を学ぶDKSの学徒には、大腰筋関連を正確に行える実力を身に付けて戴きたい、と感じた。